

参考・引用文献

- 有本 梓, 田高 悦子. (2018). 行政保健師における児童虐待事例への支援に対する困難感の理由と特徴. 横浜看護学雑誌, 11(1)29-
27. [https://ycu.repo.nii.ac.jp/record/1359/files/YJN11\(1\)19-27.pdf](https://ycu.repo.nii.ac.jp/record/1359/files/YJN11(1)19-27.pdf)
- 有村めぐみ. (2023). 宮崎県における児童相談所保健師の取り組み 中と外をつなぐ活動の見える化. 保健師ジャーナル, 79(2), 124-
129. <https://webview.isho.jp/journal/detail/abs/10.11477/mf.1664201929>
- 麻原きよみ. (2012). 「あきらめさせない」「もえつきさせない」ための組織的支援 特集「あきらめる」「もえつきる」その前に—ジレンマから学ぶ保健師の倫理的課題. 保健師ジャーナル, 68(7), 592-594.
- 愛媛県看護協会(2022)保健師による看護職間連携の実態 調査結果報告 https://www.nursing-ehime.or.jp/questionnaire-results/result-hokenshi_R03.html
<https://www.nursing-ehime.or.jp/questionnaire-results/doc/hokenshi-R03.pdf>
- 千葉 栄子, 桂 晶子, 安齋 由貴子. (2020). 子ども虐待ハイリスク家族に対する市町村保健師の関係機関との連携の取り組み. 日本公衆衛生看護学会誌, 9(1), 10-17.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjphn/9/1/9_10/_html/-char/ja
- 藤川 信子, 千葉 陽子, 我部山 キヨ子. (1994). 父親の対児感情と父性行動の関連性. 京都大学医療技術短期大学部紀要, 14, 17-26.
https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/49379/1/14_17.pdf
- 福岡 真理, 立崎 理香, 齋藤 幸子, 七海 あや, 新井 由佳子, 小林 由子, 黒川 由佳里, 軽部 香奈, 山本 しずか, 須藤 智子, 長谷 真夢, 吉田 みゆき, 高野 史子, 加藤 たまみ, 渡邊 珠帆, 河俣 真由美, 福田 歩, 橋本 祐子, 泉 章夫. (2019). 父親役割行動の実際と母親の産後うつ病スクリーニング(Whooleyの2項目質問票)の変化. 栃木県母性衛生学会雑誌とちぼ, 45, 18-22.
- 後藤 拓. (2022). 妊娠期・育児期での父親の関与についてのアセスメント項目の文献検討. 日本公衆衛生看護学会誌 11(2), 90-98 https://doi.org/10.15078/jjphn.11.2_90
- 法務省. (2022). 令和4年版 犯罪白書 第4編/第6章第6章 児童虐待・配偶者からの暴力・ストーカー等に係る犯罪 / 第1節 児童虐待に係る犯罪
https://hakusyo1.moj.go.jp/jp/69/nfm/n69_2_4_6_1_0.html

- 井伊 久美子, 勝又浜子, 森永 裕美子, 荒木田 美香子, 坂本 真理子, 村嶋 幸代. (2023). 新版 保健師業務要覧. 日本看護協会出版会, 180-187.
- 岩田 裕子, 森 恵美, 前原 澄子. (1998). 父親役割への適応における父親のストレスとその関連要因. 日本看護科学会誌, 18(3), 21-36.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jansl981/18/3/18_21/_article/-char/ja/
- 今西 洋介, 三牧 正和, 永光 信一郎, 秋山 千枝子, 上原 里程, 小川 厚. (2023). 男性の産後うつと育児休業に関するアンケート調査. 日本小児科学会雑誌, 127(1), 90-95.
<https://search.jamas.or.jp/link/ui/2023099431>
- 飯塚 瑞季, 大澤 真奈美, 行田 智子. (2023). 乳幼児虐待予防に向けて市町村保健師が支援の必要な「気になる親子」を判断するためのアセスメントの視点. 日本地域看護学会誌, 26(3), 31-42.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jachn/26/3/26_31/_article/-char/ja/
- Kenji Takehara, Maiko Suto & Tsuguhiko Kato. (2020). Parental psychological distress in the postnatal period in Japan: a population-based analysis of a national cross-sectional survey, Scientific Reports 2020 10(1). <https://www.nature.com/articles/s41598-020-70727-2.pdf>
- Kenji Takehara, Maiko Suto, Naoko Kakee, Yoshiyuki Tachibana, Rintaro Mori. (2017). Prenatal and early postnatal depression and child maltreatment among Japanese fathers. Child abuse & neglect, 70, 231-239.
<https://doi.org/10.1016/j.chiabu.2017.06.01>
- 科学研究費助成事業データベース. (2022). 乳幼児期の父に関する虐待リスクアセスメント項目の明確化とアセスメントガイドの開発. (検索日: 2024 年 2 月 28 日)
<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-20K11019/>
- 加藤 承彦, 越智 真奈美, 可知 悠子, 須藤 茉衣子, 大塚 美耶子, 竹原 健二. (2022). 父親の育児参加が母親、子ども、父親自身に与える影響に関する文献レビュー. 日本公衆衛生雑誌, 69(5), 321-337. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jph/69/5/69_21-040/_pdf/-char/ja
- 亀崎 明子, 田中 満由美, 前本 京, 吉田 菜津美. (2018). 未就学児をもつ父親の育児困難感の実態と関連要因の検討. 母性衛生, 59(2), 383-389.
<https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=cu2mater/2018/005902/0>

[12&name=0383-0389j&UserID=58.5.9.186](#)

木下あゆみ. (2022). 診療現場で取り組む虐待予防 連携の『のりしろ』をひろげよう. 日本小児科医会会報, 64, 5-7.

https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=de9pedia/2022/000064/005&name=0005-0007j&UserID=58.5.9.186&base=jamass_pdf

厚生労働科学研究成果データベース. (2023). わが国における父親の子育て支援を推進するための科学的根拠の定時と支援プログラムの提案に関する研究(検索日:2024年2月28日)

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/161734>

厚生労働省. (2004). 厚生労働省通知 養育支援を必要とする家庭に関する医療機関から市町村に対する情報提供について(平成16年3月10日雇児総発第0310001号)

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00tb4477&dataType=1&pageNo=1

厚生労働省. (2007). 保健師の2007年問題に関する検討会報告書. 平成18年度「地域保健総合推進事業」, II 継承すべき保健師の能力、技術・技量

https://www.wam.go.jp/gyoseiShiryou-files/documents/2007/13617/20070725_lhaifu3.pdf

厚生労働省. (2013a). 子ども虐待対応の手引き(平成25年8月改正

版)https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/12895174/www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv/130823-01.html

厚生労働省. (2013b). 地域における保健師の保健活動について 地域における保健師の保健活動に関する指針 保健師の保健活動の基本的な方向性.(検索日:2023年12月21日)

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00tb9310&dataType=1&pageNo=1

厚生労働省. (2019). 健やか親子21 <https://sukoyaka21.cfa.go.jp/about/growth-sukoyaka21/>

厚生労働省. (2021a). 育児・介護休業法が改正されました ～令和4年4月1日から段階的に施行～ <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html>

厚生労働省. (2021b). 成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針 <https://www.mhlw.go.jp/content/000735844.pdf>

厚生労働省. (2022a). 令和3年度雇用均等基本調査

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r03/07.pdf>

厚生労働省. (2022b). 第7回成育医療等協議会 資料1 成育医療等基本方針に基づく施策の実施状況に関する評価指標等の状況

- <https://www.mhlw.go.jp/content/11908000/000939388.pdf>
- 厚生労働省. (2023). 令和3年度福祉行政報告例の概況 (検索日: 2023年3月28日)
- <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/gyousei/21/dl/gaikyo.pdf>
- 厚生労働省. (n.d.). プロジェクトを知る イクメンプロジェクト趣旨 (検索日: 2023年5月22日) <https://ikumen-project.mhlw.go.jp/project/concept/>
- 頃安 玲穂, 田淵 紀子, 毎田 佳子, 南 香奈. (2023). 地域で働く熟練助産師が訪問時に児童虐待やそのリスクを発見する際の視点. 日本助産学会誌, 37(2), 126-138 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjam/37/2/37_JJAM-2022-0040/_article/-char/ja
- 前島 芳名子, 小口 孝司. (2001). 父母の不和が子どもの自尊心, 情緒安定性ならびに攻撃性に及ぼす影響 -父は情緒に, 母は行動に-. 家族心理学研究, 15(1), 45-56.
- https://www.jstage.jst.go.jp/article/jafp/15/1/15_45/_pdf/-char/ja
- 宮本 信也. (2005). 子ども虐待についての医師の意識調査. 平成16年度 被虐待児への医学的総合的治療システムのあり方に関する研究.
- 松岡 佑季. (2020). 我が国における乳幼児をもつ父親の「育児困難」の概念分析. インターナショナル Nursing Care Research, 19(2), 1-10.
- 松田 佳子. (2018). 『親になる移行期の父親らしさ』尺度の作成と信頼性・妥当性の検討. 日本看護科学会誌, 38, 9-17. <https://doi.org/10.5630/jans.38.9>
- 村嶋 幸代. (2017). 自治体保健師のキャリアラダーと人材育成体制の構築—保健師の能力を開発し, 地域保健を効果的に進めるために— 保健師教育, 1(1), 8-15.
- https://doi.org/10.32117/hokenshikyoku.1.1_8
- 日本看護協会. (2014). 保健師活動指針活用ガイド 第II章保健師活動指針を踏まえた保健活動の展開.
- <https://www.nurse.or.jp/nursing/home/publication/pdf/guideline/hokenshikatsudo/part2.pdf>
- 日本看護協会. (2023). 令和4年度 厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業 保健師の活動基盤に関する基礎調査報告書. https://www.nurse.or.jp/nursing/home/publication/pdf/senkuteki/2023/hokenshi_katsudokiban.pdf
- 沼田あや子. (2015). イクメン時代における母子保健での母親支援の課題. 心理科

- 学, 36(2). https://www.jstage.jst.go.jp/article/jraps/36/2/36_KJ00010223485/_pdf
- 中島 久美子, 常盤 洋子. (2012). 夫婦の認識から捉えた「妊娠期の妻への夫の関わり満足感尺度」の作成 因子の妥当性による質問項目の選定. 日本助産学会誌, 26(2), 166-178.
<https://doi.org/10.3418/jjam.26.166>
- 長野 扶佐美, 塩谷 久子. (2023). 保健師が行う子育て中の父親支援の実態と課題 -今日的な父親役割支援の実態と課題に注目して-. 看護・保健科学研究誌, 23(1), 24-35.
- 内閣府. (2020). 少子化社会対策大綱 別添 2 施策に関する数値目標
https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/law/pdf/r020529/shoushika_taikou_b2.pdf
- 日本看護協会. (2014). 保健師活動指針活用ガイドⅡ保健師活動指針を踏まえた保健活動の展開. (検索日: 2024 年 1 月 4 日)
<https://www.nurse.or.jp/nursing/home/publication/pdf/guideline/hokenshikatsudo/part2.pdf>
- 野口 啓示. (2017). 【家族・働き方・社会を変える父親への子育て支援】当事者活動の実際 児童虐待加害者としての父親への支援. 別冊発達, 33, 174-179.
- 岡本 絹子, 中村 裕美子, 山口 三重子, 奥山 則子, 標 美奈子, 渡部 月子. (2002). 乳幼児をもつ母親の疲労感と父親の育児参加に関する研究. 小児保健研究, 61(5), 692-700.
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1520853833968980352>
- 小崎 恭弘, 高木 悦子. (2022). 父親支援の先駆的自治体の取り組みに関する研究. 令和 4 年度 厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業) わが国における父親の子育て支援を推進するための科学的根拠の提示と支援プログラムの提案に関する研究 総括・分担研究報告書 https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202207001A-sokatsu.pdf
- 大木 幸子. (2023). 【虐待から子どもの命をどう守るのか】子ども虐待による死亡事例を防ぐために留意すべきポイント 保健師の強みを活かすために. 保健師ジャーナル, 79(2), 104-109.
<https://webview.isho.jp/openurl?rft.genre=article&rft.issn=1348-8333&rft.volume=79&rft.issue=2&rft.spage=104>
- 朴 志先, 金 潔, 近藤 理恵, 桐野 匡史, 尹 靖水, 中嶋 和夫. (2011). 未就学児の父親における育児参加と心理的ウェルビーイングの関係. 日本保健科学学会誌, 13(4), 160-169.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jhsaiih/13/4/13_KJ00007142906/_pdf/-char/ja

- 朴 志先, 小山 嘉紀, 近藤 理恵. (2012). 日韓中における就学前児の父親の育児関連 DailyHassles とマルトリートメントの関係. 厚生指標, 59(6)13-21.
- 下坂 剛. (2019). 父親の育児関与尺度の開発および信頼性と妥当性について. 小児保健研究, 78(4), 289-295. <https://www.jschild.med-all.net/Contents/private/cx3child/2019/007804/004/0289-0295.pdf>
- 須藤 千波, 山本 真由美. (2017). 子育てにおける父親のストレス要因に関する文献研究. 北海道母性衛生学会誌, 46, 23-29.
- 杉本 昌子, 横山 美江. (2015). 父親の虐待的子育てに関連する要因の検討. 小児保健研究, 74(6), 922-929.
- 鈴木 ゆみ. (2007). 特集 男心をつかむ保健師活動 男性へのアプローチのポイントをさぐる 男性のための親子保健活動. 保健師ジャーナル, 63(11), 972-976
- 鈴木 和子, 渡辺 裕子, 佐藤 律子. (2019). 家族看護学- 理論と実践第5 版 第2 章看護学における家族の理解, 日本看護協会出版会, 50-54.
- 鈴木 茜, 亀田 茉奈, 立川 あみ, 久保田 睦子, 進藤 ゆかり, 河原田 まり子. (2011). 発達障害児の両親の障害受容過程における保健師支援の実態-父親の支援に焦点を当てて-. 北海道公衆衛生学雑誌, 25(2), 123-130.
- Tsuguhiko Kato, Yuko Kachi, Manami Ochi, Mako Nagayoshi, Bibha Dhungel, Takayuki Kondo, Kenji Takehara. (2023). The long-term association between paternal involvement in infant care and children's psychological well-being at age 16 years: An analysis of the Japanese Longitudinal Survey of Newborns in the 21st Century 2001 cohort. Journal of Affective Disorders, 324(1). <https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0165032722014355?via%3Dihub>
- 高瀬 寛子, 荒木田 美香子. (2022). 幼児の父親の育児および家事における実施状況とその関連要因. 日本公衆衛生雑誌, 69(10), 814-823. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jph/69/10/69_21-108/_article/-char/ja
- 高木 悦子, 小崎 恭弘, 阿川 勇太, 竹原 健二. (2023). 全国地方自治体で実施されている父親を主な対象とするポピュレーションアプローチ事業の実施状況調査結果報告. 日本公衆衛生雑誌, 70(8), 483-494. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jph/70/8/70_22-071/_pdf/-char/ja
- 高木 悦子, 小崎 恭弘. (2021). 全国基礎自治体の父親支援実施の現状に関する研究. 令和 2

- 年度 厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））分担研究報告書.（検索日：2024年1月5日）https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202007017A-buntan4.pdf
- 東京都福祉局.（2006）. 医療機関のための子育て支援ハンドブック～気になる親子に出会ったら～ 第4章 気になる親子への対応.（検索日：2024年1月2日）
https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/koho/ko_shien_handbook.html
- 上田 泉, 佐伯 和子, 河原田 まり子, 平野 美千代, 和泉 比佐子, 波川 京子.（2014）. 保健師がとらえる子ども虐待事例における父親の対人関係と行動の特性. 日本公衆衛生看護学会誌, 2(1), 2-11. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjphn/2/1/2_2/_pdf/-char/ja
- 内田 貴峰.（2022）. 父親の育児不安・育児ストレスと育児支援に関する文献検討. 埼玉医科大学短期大学紀要, 33, 29-36.
- 湯浅 資之, 池野 多美子, 請井 繁樹.（2021）. 現任保健師が認識している公衆衛生における現状変化とその改善策に関する質的研究. 日本公衆衛生雑誌, 58, 116-128
- 山口 真理.（2021）. 母子健康手帳交付面接での保健師の養育ハイリスク妊婦への気づき. 了徳寺大学研究紀要 (15), 81-96.
<https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=en3ryoto/2021/000015/009&name=0081-0096.j>
- 山内 弘子, 高間 静子, 林 宏美.（2016）. 妊婦に対する夫の役割行動実践度測定尺度の開発. 母性衛生, 56(4), 599-608. <https://search.jamas.or.jp/link/ui/2016150364>